

《調査報告》

文理融合学部のポジション

中村 隆志 (新潟大学)

2010年代後半に設立された国公立大学文理融合型学部注目し、大学受験サイトと就職支援サイト(いわゆる就職ナビ)において、どのような位置づけにあるかを概観した。大学受験サイトについては、分類の仕方がサイトによって異なっており、一覧表に複数回掲載される学部/大学もある一方で、比較そのものが難しいものもあった。就職ナビでは、各学部/大学は、「文系」「理系」(あるいは「その他」)に大別される形で利用者登録がされていくことを確認した。大学受験サイト、就職ナビとも、既存の文理の枠組みが、2019年現在も強く残っており、教育改革に伴って設立された文理融合型学部の位置づけは、社会的になお不安定であることが確認された。

キーワード：文理融合、大学改革、大学受験サイト、就職ナビ

1. 文理の癒合

「社会に出れば、理系も文系も関係ない」

時々聞く言葉である。実際の社会人の仕事の在り方を考えれば、一定の現実を正しく反映していると言えるだろう。論理的には、この言葉に反論の余地はほとんどない一方で、口に出しても意味が無いようなトートロジーというわけでもない。特定の場面や文脈において必要となるような、使う価値のある言葉だからこそ、時々聞くことになるのだろう。その指し示す内容から察するに、個々の社会人の臨機応変さの必要性を説く際に使われやすいと考えられる。

2010年代後半、理系でも文系でもない学部が国公立大学を中心に次々と新設された[1]。とりわけ、少子化による教育学部関連の組織の見直しが急務となり、大学の組織改革の必要性が求められていた。また、アクティブラーニング、教育の情報化などがキーワードとなり、教育現場の方法論やカリキュラムの改革を率先して行う大学機関が社会から求められていたことも、この新設ラッシュを後押しした[2]。新設された学部の多くは、文理融合型教育を掲げ、社会のニーズに応える人材育成を行う機関として、スタートした[3]。カリキュラムの内容は、既存の文系、理系の枠組みを超え、両者が混じり合った内容となる。地方創生などの特定の目標に応じた内容の学部もあれば、基礎力をつけた後は、文理の枠を超えて専門分野を個々の学生が選択可能にしている学部もあり、それぞれに特徴的なカリ

キュラム構成を提供している。

多くの学部が新設されたとはいえ、日本の全大学、全学部から見れば、それらはほんの少数である。かなり前から文理融合的な体制を敷いていた学部(例えば、名古屋大学情報文化学部)を除き、国内の大半の学部/大学は、従来型の理系・文系の枠を堅持している。そのような中、新設の文理融合型学部は、既存の社会の仕組みの中で、どのようなポジションを与えられるのだろうか?本稿は、文理融合型学部の現在の位置づけを大学受験サイトと就職支援サイト(一般に「就職ナビ」と呼称されるため、以降、この名称に従う)の実態から探るものである。

2. 文理融合学部

国内で、2010年代後半に設立され、文理融合型の教育を行う国公立大学の新設学部の代表的なものを表1に挙げる。いずれの学部においても、表現の幅はあるにせよ、「従来の学問分野で区切られた教育だけでは、これからの社会をリードしていく人材を育てられなくなっている」ことを問題意識として掲げ、その解決策として、文理融合型の教育を行うことを方針としている(千葉大学の国際教養学部は、文理「混合」を謳っている[4])。「社会のニーズ」に合わせた教育方針を持つ学部として設立に至ったと述べられることが多い。

なお、文理融合(混合)を謳う中で、学年進捗と共に、学生達が何を中心に学んでいくかの選択の幅は異なっている。一定の複合的テーマ(地域振興、都市運営、資源活用)に応じて、文系と理系を交えた異なる

表1. 新設の主な文理融合型学部

設立	大学	学部
2015	高知大学	地域協働学部
2016	千葉大学	国際教養学部
2016	宇都宮大学	地域デザイン科学部
2016	福井大学	国際地域学部
2016	愛媛大学	社会共創学部
2016	宮崎大学	地域資源創成学部
2017	東京海洋大学	海洋資源環境学部
2017	横浜国立大学	都市科学部
2017	新潟大学	創生学部
2017	滋賀大学	データサイエンス学部
2017	島根大学	人間科学部
2018	横浜国立大学	データサイエンス学部
2018	九州大学	共創学部

分野の授業科目を学ぶタイプの学部が多い。そんな中で、新潟大学の創生学部、九州大学の共創学部のように、比較的広い分野から専門的授業科目を選ぶ方式を採っている点は特徴的であり、学際性が高いと云えよう。

3. 偏差値一覧表

前章で述べた学部／大学は、それぞれ、文理融合型と言いつつも、多少の文系寄り、あるいは理系寄りのどちらかに偏る傾向にある。これは、提供しているカリキュラム内容はもちろんのこと、その前身母体になった学部や大学の事情に影響を受けるためと考えら

れる。では、それらの学部／大学は、その学部への合格のしやすさ、つまり難易度はどのような形で社会に提供されているのだろうか？受験生、保護者、高校教員の多くが閲覧する大学受験サイトを調べてみる。

受験産業として名高いサイトである「Benesse マナビジョン」、「河合塾 Kei-net」、「Toshin.com」の3つのページを、それぞれ比較してみる[5-7]。「Benesse マナビジョン」は、地域、学問分野、資格取得を選んでで大学検索できるデータベースを提供しているが、偏差値から大学を比較するページが一覧表として用意されている。Benesse マナビジョンにおいて、注目すべきはこのページであり、大きく理系／文系の2分法を採用している。「河合塾 Kei-net」は学部系統別に13種類の系列に各学部を分類してランキング表を作成している。

「Toshin.com」も大きく文系／理系の2分法を採用するが、その後、内容に応じた類型をあてはめて、各学部の概要を理解しやすくしている。

表2のように、記載は様々であり、文理が別れているものものあれば、並記されているものもある。また、新潟大学創生学部や九州大学共創学部のように、ベネッセのサイトでは、文系に区分されていても、東進のサイトでは、文系と理系の両方の一覧表に載っているところもあり、表の作成者側のまとめ方や見方によるところが反映されていると考えられる。

それぞれに、特徴的な学部／大学であるが、特徴的であるが故に、そのポジションは定まりにくいというのが、多くの人が持つ印象ではないだろうか。今回参考にした河合塾 Kei-net と Toshin.com では、分類に用いられたキーワード（特に、国際、環境、情報）は、2つのサイト間で交錯している。また、河合塾 Kei-net は、各学部を13種類の区分に分類しているものの、それでも、横浜国立大学の都市科学部、愛媛大学の社会共創学部のように、1つの区分には納まりきらないものもある。他の学部／大学と比べ、分類された表や一覧表内の位置づけがサイトごとに異なることが、受験生側、大学側の双方にとって、有利に働くのか、不利に働くのかは考えどころであろう。また、学部／大学側にとっても、受験生目線からの位置づけが定まりにくいことは、国内における教育機関としてのアピールを弱くしてしまう可能性がある。

大学	学部	Benesse 区分	河合塾 Kei-net 区分	Toshin 区分
高知大学	地域協働学部	*文系	*経済・経営・商学系	*法・経済・経営・商(文)
宇都宮大学	地域デザイン科学部	*理系	*社会・国際学系 *工学系	*法・経済・経営・商系(文) *理・工学系(理)
福井大学	国際地域学部	*文系	社会・国際学系	*環境・情報・国際系(文)
愛媛大学	社会共創学部	*文系	*文・人文学系 *経済・経営・商学系 *芸術・スポーツ科学系 *総合・環境・情報・ 人間学系	*法・経済・経営・商系 (文) *環境・情報・国際系(文) *理・工学系(理) *環境・情報・国際系(理)
千葉大学	国際教養学部	*文系	*社会・国際学系	*環境・情報・国際系(文)
宮崎大学	地域資源創成学部	*文系	*経済・経営・商学系	*農林・獣医・水産系(文)
東京海洋大学	海洋資源環境学部	*理系	*農学系	*農林・獣医・水産系(理)
横浜国立大学	都市科学部	*文系 *理系	*社会・国際学系 *工学	*法・経済・経営・商系(文) *理・工学系(理)
新潟大学	創生学部	*文系	*総合・環境・情報・ 人間学系	*環境・情報・国際系(文) *環境・情報・国際系(理)
滋賀大学	データサイエンス学部	理系	*総合・環境・情報・ 人間学系	*環境・情報・国際系(理)
島根大学	人間科学部	*文系	*総合・環境・情報・ 人間学系	*法・経済・経営・商系(文)
横浜国立大学	データサイエンス学部	*理系	*総合・環境・情報・ 人間学系	*環境・情報・国際系(理)
九州大学	共創学部	*文系	*社会・国際学系	*環境・情報・国際系(文) *環境・情報・国際系(理)

表2. 文理融合型学部の大学受験サイトにおける分類区分

4. 就職ナビの登録

「社会に出れば、理系も文系も関係ない」という言葉が正しいとするならば、この言葉が適用される前の段階ではどうだろうか？つまり、「社会に出れば」と前置きがある以上、社会に出る前と出た後では状況が異なると推測される。この状況の違いがあるからこそ、この言葉はよく使われるのだろう。このことが意味するのは「社会に出る前には、理系か文系かは、ある程度重要である」ということである。

ある程度重要である、とすると、その社会への入り口、つまり、大学生にとっては教育機関からの出口である就職を決めるプロセスが、その過渡期にあたる。

その際、多くの就職希望者を支援するのが、いわゆる就職ナビである。現在、スマートフォンからアクセスできる就職ナビの利用者は多く、一種の社会基盤として機能していると言っても良いだろう。社会への出口がどうなっているのか、典型的な2つのサイトを確認しておこう。

HR 総研[8]によると、大卒の就職希望者が利用した就職ナビ上位2つは、株式会社リクルートキャリアが運営する「リクナビ」と、株式会社マイナビが運営する「マイナビ」である[9,10]。非常に多くの企業と学生の両方が利用しているサイトであり、のべの利用者総数は日本人のかなりの数にのぼるだろう。社会的影響力が大きいと思われる2つのサイトについて、文理融合型学部の卒業予定者は、どのように扱われていくの

だろうか？

まず、リクナビの新規会員登録を行おうとすると、氏名、住所、連絡先、所属大学を記入してすぐに、「文理区分」という選択肢が出現する。選択肢は文系と理系の2つしかない。文理融合系、という選択肢は無いことになる。また、会員登録を済ませ、企業検索の画面に至ると、いくつかの検索オプションがあるが、その中の1つの職種というタブを開くと、6つの選択肢

1. 事務系
2. 営業系
3. 販売系
4. IT系
5. 技術系
6. 専門系

に分かれており、そこから更に細分化されて検索条件が選べるようになっていく。6つの選択肢のうち、前半3つは明らかに文系に分類されるものであり、5番目と6番目は理系に分類されるのが一般的であろう。4番目の「IT系」は文理の別は、はっきりしていないため、ここだけが文理融合的な職種の категория と見なせる構造になっている。

次に、マイナビの新規会員登録であるが、氏名、住所、連絡先、所属大学を記入してページが変わると「文理区分」という選択肢が出現するが、リクナビとは状況が異なる。文系、理系、その他、の3つの選択肢である。その他、が何を示すのか、いささか不明であるが、2つしか選択肢のないリクナビよりは、自由度がある。企業検索のページに飛ぶと、職種では、

1. 一般事務・管理
2. 営業
3. 企画
4. マーケティング
5. 販売・サービス
6. IT系
7. 基礎研究
8. 応用研究
9. 機械・電子機器設計
10. 建築土木設計・測量・積算
11. 生産・製造技術
12. 品質・生産管理・メンテナンス
13. 施工管理

と13種類に分かれている。一般に前から5番目までが文系的な職種、7番目から13番目までは明らかに理系的職種となり、6番目の「IT系」（系のつくのは、マイナビではこれだけ）だけが文理融合的なカテゴリーとなる。

リクナビについては、登録する大学生には、在学する学部／大学を文系、理系の2分法で割り切ることが必須となっており、マイナビにおいても、文系、理系、その他のどれかを選ばねばならない。文理融合学部の卒業予定者達も、いずれ、同じ登録画面に直面し、居場所の見つけにくさを感じ、判断に迷うこともあるだろう。

検索対象である企業の方は、IT系以外は、既存の文系／理系の区分を少し細分化した程度である。掲載企業は、堅固なまでに既存の枠組みで分類されたままである。2019年現在の就職ナビにおいて、文理融合型学部の卒業予定者のための選択肢は、明瞭には用意されていない、と云えるだろう。

5. 概観を終えて

新設された文理融合型教育を行う学部／大学について、大学受験における難易度表にアクセスし、また、現在の2大就職ナビについて、学生側の登録方法と企業の分類について、確認を行った。文理融合型学部の社会的ポジションは、不安定であり、まだまだ道半ばと云えるだろう。

大学受験の難易度表は、文理の2分法で分けてしまうところもあれば、内容に応じて両方の扱いをすることがあり、位置づけは、依然不安定なままである。偏差値だけを比較するならば、Benesse マナビジョンが有効であろうが、入学後にかなり異なる学習領域の学部／大学同士を比較する点は避けられない。学ぶ内容が近い大学同士を比較するのであれば、河合塾 Kei-net や Toshin.com など、他のサイトが参考になるだろう。ただし、使い分け次第で、掲載の仕方が異なる学部／大学は、国内の教育機関としての存在の認知がされにくくなることが予想される。また、分類名が交錯していて、かえって混乱を呼ぶ可能性もある。

就職ナビにおける学生の登録区分は、文理の2分法か、あるいは「その他」枠を設けるかで対応が分かっている。文理融合型学部は、「既存の大学教育の枠組み」を超えた教育を行い、「社会のニーズ」に応えることを謳っている。しかし、大学受験サイトにせよ、就職ナビにせよ、既存の大学教育が作った枠組みを用いたま

までである印象は拭えない。就職活動を始めるために、就職ナビに登録する際、文系と理系（あるいは「その他」）しか選択肢がないこと、つまり、文理融合型学部の卒業予定者のための選択肢が用意されていないことを目の当たりにした時、彼(女)らは、どのように感じるのでしょうか？

それでも、「社会に出れば、理系も文系も関係ない」という言葉を信じるならば、まもなく活路は開けると期待する。この言葉は、既存の枠組みに隙間があることを示すからである。枠組みが堅固であればあるほど、その隙間は広く大きくなる。文理融合型学部の大学生にとって、道筋は明示されていなくとも、社会の中に居場所はあるはずである。見ようによっては、2020年代において、なお、既存の枠組みが残っている社会構造こそが、未だ見ぬ「社会のニーズ」に応えるチャンスをもたらすだろうと推察する。

参考サイト

1. 国立大学の改革の方向性, 一般社団法人国立大学協会公式 HP, 2018/8/7 発表. <https://www.janu.jp/news/files/20180807-wnew-giren2.pdf>. (2019/12/29 最終確認)
2. 学習指導要領「生きる力」, 文部科学省公式 HP, https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm. (2019/12/29 最終確認)
3. 松浦 良充, 国立大学で進む学部再編は一体何をもたらすのか, in-depth, Nippon.com (Nippon Communications Foundation), 2017/3/20 発表, <https://www.nippon.com/ja/currents/d00297/>. (2019/12/29 最終確認)
4. 学部概要, 千葉大学国際教養学部公式 HP, <http://www.las.chiba-u.jp/outline/index.html>. (2019/12/29 最終確認)
5. Benesse マナビビジョン, <https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/>. (2019/12/29 最終確認)
6. 入試難易予想ランキング表, 河合塾 Kei-net, <https://www.keinet.ne.jp/rank/>. (2019/12/29 最終確認)
7. 東進の大学入試偏差値ランキング, Toshin.com, <https://www.toshin-hensachi.com/>. (2019/12/29 最終確認)
8. HR 総研「2020 年卒学生 就職活動動向調査(3 月調査)」結果報告, HR プロ, https://www.hrpro.co.jp/research_detail.php?r_no=230. (2019/12/29 最終確認)
9. リクナビ, リクルートキャリア, <https://job.rikunabi.com/>. (2019/12/29 最終確認)
10. マイナビ, 株式会社マイナビ, <https://www.mynavi.jp/lp/>. (2019/12/29 最終確認)